


記入例1 不動産を売却するについての代理権の付与を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

受付印	保 佐 開 始 申 立 書						
<table border="1"> <tr> <td>収入印紙</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>予納郵便切手</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>予納登記印紙</td> <td>円</td> </tr> </table>	収入印紙	円	予納郵便切手	円	予納登記印紙	円	<p>この欄に収入印紙をはる。 保佐開始のみの場合800円分 保佐開始+同意権拡張(☆)の場合1,600円分 保佐開始+代理権付与の場合1,600円分 保佐開始+同意権拡張(☆)+代理権付与の場合2,400円分 (はった印紙に押印しないでください。)</p>
収入印紙	円						
予納郵便切手	円						
予納登記印紙	円						

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	-------------------

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 平成 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日	申立人の 署名押印 又は記名押印 甲 山 一 郎 
---	---

添付書類	(同じ書類は1通で足りる。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input type="checkbox"/> 本人の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/> 本人の住民票又は戸籍附票 <input type="checkbox"/> 本人の登記されていないことの証明書 <input type="checkbox"/> 本人の診断書(家庭裁判所が定める様式のもの) <input type="checkbox"/> 本人の財産に関する資料 <input type="checkbox"/> 保佐人候補者の住民票又は戸籍附票 <input type="checkbox"/> (同意権拡張又は代理権付与を求める場合) 同意権、代理権を要する行為に関する資料(契約書写し等) <input type="checkbox"/>
------	--

申立人	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)
	フリガナ氏名	コウヤマイチロウ 甲 山 一 郎 大正 〇〇 年 〇 月 〇 日生 昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日生 平成 〇〇 年 〇 月 〇 日生
	職業	会 社 員
本人	本人との関係	※ 1 本人 2 配偶者 ③ 四親等内の親族 (本人の長男) 4 (未成年・成年)後見人 5 (未成年・成年)後見監督人 6 補助人・補助監督人 7 任意後見受任者・任意後見人・任意後見監督人 8 その他 ()
	本籍	〇〇 都 道 〇〇市〇〇町〇番地 府 (県)
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)
本人	フリガナ氏名	コウヤマ タロウ 甲 山 太 郎 明治 〇〇 年 〇 月 〇 日生 大正 〇〇 年 〇 月 〇 日生 昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日生 平成 〇〇 年 〇 月 〇 日生
	職業	無 職

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

保佐人を付する必要がある方について記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、3又は8を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。 ☆民法第13条第1項に規定されている行為については、申立ての必要はありません。

申 立 て の 趣 旨	
本人について保佐を開始するとの審判を求める。	
(必要とする場合に限り、当てはまる番号を○で囲んでください。)	
1 本人が以下の行為（日用品の購入その他日常生活に関する行為を除く。）をするにも、その保佐人の同意を得なければならないとの審判を求める。（☆）	
② 本人のために以下の行為について保佐人に代理権を付与するとの審判を求める。	
(行為の内容を記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
2につき、不動産の処分	
登記手続	

居住用の不動産を売却する場合は、居住用不動産処分の許可も必要となります。くわしくは窓口にお尋ねください。

申 立 て の 実 情	
(申立ての理由、本人の生活状況などを具体的に記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
本人は、昨年2月に妻を亡くしてから現住所地で一人暮らしをしてきたが、最近物忘れがひどくなり、日常生活に支障が出てきたので、〇〇特別養護老人ホームに入所することになった。今後の入所費用等に充てるため、これまで本人が住んでいた自宅を売りたいと思うが、本人一人ではその手続が行えないので本件を申し立てた。申立人は遠隔地に住んでいるので、保佐人には本人と同じ〇〇市在住の乙野弁護士を選任してもらいたい。	
保 佐 人 候 補 者 〔適当な人がいる場合に記載してください。〕	住 所 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇) 方)
	フリガナ 氏 名 オツノ ハイイチ 乙野 丙一 大正 昭和 平成
	職 業 弁 護 士 本人との 関 係
	勤 務 先 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号〇〇ビル3階 乙野法律事務所

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ☆民法第13条第1項に規定されている行為については、申立ての必要はありません。

保佐 (2/2)

法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。